

# KALEIDOSCOPE

お持めの本

じごくのそうべえ

作: たじま  
ゆきひこ

<sup>つな</sup>綱わたりをしていた

<sup>かる</sup>軽わがしのそうべいは、おっととと一綱から落ちて、気がついたら あらうさんずの川を渡ることに…

そう、「歯ぬきし」「やまがし」「いしゃ」といっしょに 地ごくの <sup>む</sup>責め苦を受けることになるはずが…

<sup>かみがた</sup>上方落語をもとに作られた。

「そうべえシリーズ」の一冊。関西弁だから、関西の人によんでもらったらおもしろさも倍になるかも。

「たじまゆきひこ」さんの <sup>by こいま</sup>絵が楽しい!

\*\*\*  
キップを打して

夏休みだし… ということで、グイヒにひかいて読み始めたい… スタルジ & ファンタジーの懐しの昭和。

切符を打し知、(子供の、有無を言わせず、駅で共同生活をさせら(子こ)こに(子)たり、各自相応の役割を(子)えられ(子)思(子)や(子)こ etc 学んで(子)ます。(子)に(子)クワイマクスは“死”を受けとめる(子)為(子)の(子)大切(子)な(子)人(子)を(子)送(子)る(子)列車(子)の旅。

身して泣けてさゆやが好1冊です。

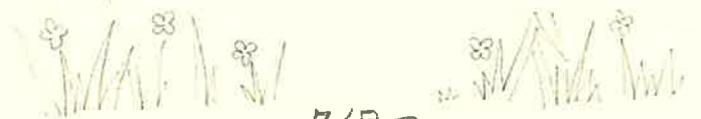
ルラルさんの「にわ」

いとうひろし/さく ポプラ社

ルラルさんは、まいにち、にわのていれを(子)して、にわをたいせつに(子)しています。だれかがは(子)いる(子)う(子)として(子)も、パチンコで(子)おい(子)は(子)ら(子)って(子)ま(子)います。

ところが、ある(子)あ(子)さ、ルラルさんの(子)に(子)わ(子)に(子)ま(子)る(子)た(子)が(子)こ(子)ろ(子)が(子)って(子)ま(子)した。

その(子)ま(子)る(子)た(子)は、なん(子)と“ワニ”だ(子)った(子)の(子)です。ルラル(子)さん(子)は、パチンコ(子)で(子)ワニ(子)を(子)おい(子)は(子)ら(子)った(子)の(子)で(子)し(子)ょう(子)か?



久保田

こんとあき 林明子さく

こんはあきのいちばんの(子)友(子)だ(子)ら、ず(子)と(子)小(子)さい(子)と(子)き(子)から(子)遊(子)ん(子)で(子)ま(子)した。

ある(子)日(子)、汽(子)車(子)に(子)乗(子)って(子)お(子)ば(子)あ(子)ち(子)ゃ(子)ん(子)の(子)家(子)に(子)行(子)く(子)こ(子)と(子)に(子)な(子)り(子)ま(子)した。

途(子)中(子)で(子)こん(子)は(子)あ(子)き(子)の(子)た(子)め(子)に(子)お(子)弁(子)当(子)と(子)買(子)い(子)に(子)駅(子)で(子)降(子)り(子)た(子)の(子)で(子)す(子)が、(子)ち(子)か(子)な(子)り(子)帰(子)っ(子)て(子)ま(子)せ(子)ん、(子)もう(子)汽(子)車(子)の(子)出(子)る(子)時(子)間(子)だ(子)ら。

こん(子)と(子)あ(子)き(子)に(子)ハ(子)ウ(子)ハ(子)ウ(子)ド(子)キ(子)ド(子)キ、(子)無(子)事(子)に(子)お(子)ば(子)あ(子)ち(子)ゃ(子)ん(子)の(子)家(子)に(子)着(子)く(子)の(子)で(子)し(子)ょう(子)か?

川口

はるかぜ"書店のブログ"「カレイドスコープ」

もうご覧頂きましたか？

書店員オススメの本について

書店のミゴトって、何するの...?

ヨコスカの風景、近所α美味しいお店情報

はるかぜ"一同、鋭意更新中!!

<http://blog.canpan.info/harukaze/>

当店で絵本の楽しさをお伝えする企画を行、ています。

<絵本のおみせかせ> 9月29日(火) 3:00~  
大人も子どもと一緒に、絵本の世界へGo!

<絵本情報交換会> 9月14日(月) 3:00~  
どんな絵本を読んだらいい? ママとパパと  
お話ししましょ?

ぜひお越し下さい!!

『苦しみの中こそあなたは輝く  
山田邦男著 フランクル人生論』

「夜霧」で著名なV.E.フランクルの  
人生論を詳説し、現代に蔓延する  
空虚感の原因を探り、生きる意味を  
問い直す一冊。

『私たちがどれほど人生に絶望しよう  
とも、人生は決して私たちに  
絶望しない』

3月のライオン ①~③巻 以下 続刊

羽海野チカ・シュッツコミックス

東京の下町を舞台に、17歳のプロ棋士  
桐山零と彼をとっかく火々の生活を  
描いたまんがです。事故で家族を  
失った主人公が、不器用ながらも  
周囲の人との関わりの中で成長して  
ゆきます。人の温かさ、勝負の世界の  
厳しさを、細緻なディテールが支え  
る、読みこたえのある物語です。

♪.....Oh when the saints go marching in.....♪

はるかぜ書店には 長丸いテグルがある。ここに  
すわって絵本をながめる時間は 最高に幸せだ。

ゆっくりと  
本の世界に  
ひたること  
のできる  
場所です。



FUSAKO

今日、読んだのは、「おおきなかわのむこうへ」

プルミン・ホイシャー文 ひくまの出版

おおきなかわのむこうにあるのは 死のせかいだ。

旅出っていく  
友だちを見送り、  
別れの悲しみを  
のりこえていく  
あらいぐまと  
仲間たちの  
お言葉だ。  
かがわいて  
くる、いい  
本だ。

ご注文・お問合せは

はるかぜ書店へ

tel. 046-804-6611